

令和5年度第2回 吹田市立図書館協議会（会議録要録）

開催日時：令和5年（2023年）11月9日（木）午後2時～4時

開催場所：吹田市立中央図書館4階集会室

出席委員：瀬戸口会長、日置副会長、曲村委員、久保委員、飯田委員、岩本委員、木田委員、
山本委員、川中委員

欠席委員：山口委員

事務局：林野中央図書館長、桑名参事、大平参事、添田主幹、牧瀬千里図書館長、
梶原さんくす図書館長、佐野千里山・佐井寺図書館長、
長尾健都ライブラリー館長、迫田山田駅前図書館長、栗田北千里図書館長

傍聴者：2名

令和5年度 第2回図書館協議会次第

1 「令和4年度（2022年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）」の作成

2 報告事項

- (1) 「令和4年度（2022年度）実施事業 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」について
- (2) バリアフリー読書支援サービス（障がい者サービス）の取組について
- (3) 北千里図書館（まちなかりビング北千里）開館1周年について
- (4) その他

3 その他

- (1) 退任委員について
- (2) 次回協議会の日程について

事務局：傍聴者の確認

出席状況の確認

開会の挨拶（林野中央図書館長）

資料確認

1 「令和4年度（2022年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）」について

瀬戸口会長：次第1、「令和4年度（2022年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）」について、事務局から説明をお願いします

（事務局説明）

「基本目標1地域の情報拠点として、いつでも、どこでもだれにでも役立つ図書館を目指します。」

サービス方針1 資料と情報の提供

(事務局説明)

日置副会長:パスファインダーとブックリストは、医療系を中心に作られたということですが、配布は健都ライブラリーのみでしょうか。

長尾館長:全館で配布しています。医薬品のパスファインダーに関しては、薬剤師会を通して市内の薬局でも配布しています。

サービス方針2バリアフリー読書支援サービス

(事務局説明)

(質疑応答なし)

サービス方針3持続可能な運営の目標

(事務局説明)

瀬戸口会長:府県をまたいだ西宮・尼崎・豊中・吹田の図書館での連携というのは、他にも事例がありますか。

桑名参事:私どもの知る限りでは把握しておりません。

林野館長:補足ですが、府県をまたいだ連携事例に該当するかどうかではございますが、まちなかリビング北千里ですとか江坂図書館がリニューアルオープンし、この春以降、東日本からの視察をいろいろお受けしております。他自治体の施設整備の参考にさせていただいています。私どもの研究ではなく、私どもの事例を研究として見ていただいております。

「基本目標2 生涯学習を支援して、人生を豊かにする図書館を目指します」

サービス方針4利用促進

(事務局説明)

久保委員:電子図書を借りるとどこの図書館で借りたことになりますか。

桑名参事:電子図書館の貸出点数は、別カウントになっておりまして、「吹田市の図書館活動 令和4年度統計」の18pにお示ししている各図書館の貸出統計には含んでおりません。各図

書館の数値として上がっておりますのは、紙で発行されております本、紙芝居、雑誌、それから視聴覚資料のCDとDVD、一部残っておりますカセット・ビデオという媒体になっております。他の自治体の図書館統計を見ますと、この並びに電子図書館というかたちで数値を上げておられるところもあります。吹田市として来年度以降どんなかたちで統計をお示しするか、まだ方針が定まっていないのですけれども、こういったかたちで書くかわかりやすいのではないかというアイデアがございましたらこの機会に御意見をいただければと思っております。

曲村委員：私も電子書籍を借りようと思っているのですが、検索する場合、どこの図書館で探すのでしょうか。全体でしょうか。

桑名参事：現在、吹田市の図書館では、紙の図書や視聴覚資料の検索は、それらの資料専用の検索システムで、電子書籍に関しては電子図書館の方で検索をかけるという、2回検索していただく必要がございます。そういった意味では二度手間といえますか、資料を探していただく際に御不便をおかけしています。

木田委員：電子書籍が増えているということですが、そのうち、電子書籍が紙の図書を凌駕するようなことは考えられるのでしょうか。

瀬戸口会長：個人的意見ですが、おそらく電子書籍化は、コミックや雑誌などでは進んでいっていますが、紙で読む本については、これからの推移はわからないのですが、やはり一定の需要はあると思います。それぞれのコンテンツの割合というのは、一般の書籍の分と電子書籍ではだいぶ違うと思います。そのあたりを考えると、単純にすべて電子化されたものがみんな利用するというのは違うのかなと思います。

曲村委員：電車でも本当に本が好きな人は、携帯の中でさくさく読んでおられ、わざわざ時間をとって図書館に行って借りなくてもいいので、携帯で読んでいるという若者は多いですね。

久保委員：書店も減っている感覚はあるので、電子書籍が増えていっているという感じはすごくします。

木田委員：私の感覚では、図書館に行くのもまた楽しみですが、そういうものはだんだん、なくなってきているのでしょうか。

曲村委員：忙しくてそこに足を運ぶことが減るという気がしますね。子供とか若い方でもそうですけれど、わざわざ時間を使って行って借りて、また返しにいかないといけないし、そのあたり、

自分の携帯の中にとりこんで、調べものでも携帯の中でやってしまう若者は多いです。私が入り込ませてもらっている医療関係の出版会社でも出版数・売り上げも落ちてきているそうです。特に医療関係の雑誌は高いですし、買うのではなく電子媒体で見るといったかたちが多くなっているらしいです。

桑名参事：これから世の中の出版状況がどう変わっていくかということもあるのですが、現時点では図書館ではそれぞれの媒体にいいところがあると考えています。本であれば、いろんな種類の本を並べて見ることが出来ますけれど、電子媒体だと画面に出ているものを見るかたちになります。電車で本を読みたいときは本だと荷物がかさばりますが、スマホも性能がよくなっていますし、何冊も持ち歩かなくても気分に合わせていろいろ読めます。そうして選択肢が広がっているなかで図書館がどういったかたちで読書や情報を提供できるのか、常にアンテナを張って乗り遅れないように取り組んでいかなければならないと考えています。紙の媒体は、吹田市の図書館の書庫もいっぱいになってきていますが、古いものの蓄積もあります。電子書籍はこれから先出版されていくものが中心と思われるので、過去を振り返る際にはやはり紙の媒体のよさがあり一定役割を終えていないところがあります。電子もあり、紙もあり、その方のライフスタイル等に応じて吹田市の図書館が提供しますというところをとらえてサービスをしていきたいと考えています。

サービス方針5特色あるサービス

(事務局説明)

日置副会長：ビジネス支援サービスは、江坂図書館でしか行っていないのですか。取組状況のところに「江坂図書館が改修工事だったので、全館で取り組む体制をとるべきだった」とあるのでどのような体制なのかおたずねします。江坂図書館で集中的に取り組んでいるのか、他館でも少しずつやっているのでしょうか。

桑名参事：ビジネス支援サービスは、吹田市内で会社の多い江坂図書館を中心に行っています。他館でまったく行っていない、ビジネス書を一切置かないというわけではありませんので、ビジネス関連のレファレンスをお受けすることも当然ございます。江坂図書館が改修工事の間、ビジネス支援ができないのであれば、全館で取組を進める協力体制をとるべきだったのではないかと、という反省点です。関連事項としては、千里図書館で起業コーナーを市の関連部署との連携で設置しており、さんくす図書館では近くにJOBナビすいたという機関があることもあり、重点的に就労支援に関するコーナーを設置する、という取組は行っています。

サービス方針6施設や地域との連携

(事務局説明)

(質疑応答なし)

サービス方針7市民との協働

(事務局説明)

(質疑応答なし)

「基本目標3 子育てや学校の支援を通して、子供の健やかな成長に役立つ図書館を目指します。」

サービス方針8児童サービス

(事務局説明)

木田委員:協議会に参加させていただいて勉強するなかで、高齢者で、時間をもて余している、何をしたらいいのかわからないという人が私の周囲にいるということをお話しました。それは幼い頃の文化的素養がないので、何をしたらいいのかわからないのです。学校の先生、また現在、子育てをされている方には、小さい時の文化的素養というものが、高齢者になったときに非常に響いてくるということを特にお伝えしたいです。

瀬戸口会長:大人のための読書の良さというか、子供時代には読めなかったけれど大人になってからでも読書に出会える機会があったらいいと思います。私は個人的には、本は紙で読んでいるのですけれども、いろんな意味でリフレッシュできるよい機会だと思います。そういう意味では、木田委員のおっしゃっているように、読書習慣が、全世代にわたって続くということが、実際には児童サービスに関係すると思いますが、継続して積極的に取り組んでいただければと思います。

サービス方針9子ども読書活動支援センター

(事務局説明)

川中委員:子供たちが自分で選ぶと趣向が偏りがちですが、学校への定期的な連絡便で、図書館からさまざまな本を用意して届けてもらえるので、子供たちが自分では手に取らない本も気軽に見る機会になり、とても助かっています。読書活動支援者からは、物語に片寄っているのかなということで、知識の本がもっとあればいいということを聞いています。

岩本委員：団体貸出数もとても増え、今年度からは定期便に加えて臨時便を希望すれば月1回以上連絡便を利用することもできるとのことで喜んでいますが、箕面市の学校図書館では、教育委員会全体の取組で、今は毎日のように連絡便の運行があると聞いています。必要な時にすぐ資料が手に入る体制ができていて、吹田とは雲泥の差で、吹田がそうなるには何年かかるかと感じています。できれば、教育委員会全体でそういう体制がとれるようであればと思います。

令和4年度吹田市立図書館の運営について(講評)

(事務局説明)

山本委員：評価として見るという点で言うと言葉が足りないところ、伝えることができないところも多いと思うのですが、コロナ禍を過ぎた時点でこれだけ図書館が充実した施設になっている吹田はすごいと思います。子供たちが低学年の時は、図書館の本をたくさん借りてきて「今日はこれを読むんだ」、「返すの忘れちゃった」など、そんなやりとりが変わらず家庭にあります。電子書籍が発達したのもコロナの影響もありますし、各々の年齢や状況において、これだけたくさんの選択肢があつてということでは、コロナが明けてはいないのですが、この状況でどんどん、今でもこれだけ充分いろいろな選択肢がありますが、これからも変化していくのを楽しみにしています。

桑名参事：委員の皆さまにおかれましては、本日もさまざま御意見いただき、ありがとうございます。冒頭でも申し上げましたが、本日いただいた御意見、またお示した内容をもちまして「点検・評価報告書」は確定させていただき、公表に向けて事務手続きを進めさせていただきます。いただいた御意見につきましては、図書館として、一つ一つ受け止めさせていただきます、今後の運営に活用させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 報告事項

(1)「令和4年度(2022年度)実施事業 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」について

(事務局説明)

岩本委員：図書館の指標が年間入館者数になっているのはなぜでしょうか。第4次総合計画に定められているので変えるのは難しいと思いますが、「点検・評価報告書」では個人貸出数なども取組状況として上がっているのです、そういうものに変えていくのはできないのでしょうか。

林野館長：教育委員会の方の教育ビジョンは5年間、来年度で終期を迎えるので、今は目標数値の設定・種類はこのままとし、次期に足すことは考えられます。市の第4次総合計画は、10年計画のちょうど中間の見直しを行っているところで、御指摘いただいた入館者数というのはハード面の指標で、ソフトはということでもうひとつ、貸出数の指標も立て、個人貸出の目標値も設定しようとしています。見直し後の計画は今パブリックコメントが終わりまして、見直し後の計画が確定しましたら公表されると思います。そうすると教育ビジョンの方もそれに合わせて変化していくことと存じます。

(2) バリアフリー読書支援サービス(障がい者サービス)の取組について

佐野館長：障がい者サービス、バリアフリー読書支援サービスについて報告します。

今年度、令和5年度から5か年計画で「吹田市読書バリアフリー計画」が始まりました。その一環として、1年目の今年8月20日に、体験型イベントとして、「見て、聴いて、さわったのしお読書の世界 in すいた」を開催しました。内容はお手元のちらしを御覧ください。参加者は約60名と少なかつたものの、「実際に生活で体験することがなかった事に触れられて良かった」「点字を打てて楽しかった」との感想もあり、図書館の障がい者サービスを身近に感じてもらえる機会になりました。このイベントには多くのボランティアのみなさんが協力してくださいました。

9月28日には、吹田市地域自立対策協議会の千里山・佐井寺地域会議で、図書館の障がい者サービスについて講演をまいりました。この会議は、吹田市障がい福祉室と吹田市千里山・佐井寺障がい者相談支援センターの主催で、支援センターの所長さんが、読書バリアフリー計画が策定されたことを聞いて、興味を持ってくださったことが声をかけていただくきっかけとなりました。講演の後はグループ討論を行い、図書館の障がい者サービスをより多くの人に知っていただくためにできそうなことなどを話し合いました。私が話をさせていただいたのですが、当事者や当事者に近い方々に、直接お話しする機会が持て皆さんとても興味を持っていただいたので、大変手応えのある会議でした。

10月16日から31日の16日間かけて、毎年行っております障がい者サービス利用者懇談会を電話方式で開催しました。利用登録されている方全員を対象に、全館の職員が電話するものです。すべての方とお話してきたわけではないのですが、質問や意見、お礼や励ましの言葉をたくさんいただき、現在それらをまとめているところです。また御報告したいと思います。

また、今年の4月から、月2回の手話ボランティアの取り組みを始めています。5月からは手話による読み聞かせも始まり、10月までの半年間で、開催12回、のべ参加者数が147名と多くの方に来ていただいています。大人の参加が多いのも特徴で、皆さん演者に合わせて手話をいっしょにしたり楽しんでいただいています。10月19日に「吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例」が公布されました。この条例の基本理念にあるように、障がい者が情報を取得しやすく、コミュニケーション手

段を利用しやすい環境整備に引き続き取り組んでまいります。

最後にイベントの紹介をします。お手元にちらしもありますが、12月5日(火)に山田駅前図書館でバリアフリー映画上映会を行います。

(3) 北千里図書館(まちなかりビング北千里)開館1周年について

栗田館長:北千里図書館(まちなかりビング北千里)は、昨年11月22日に開館し、まもなく1周年を迎えます。おかげさまで10月末日には、入館35万人を超える多くの方に御来館いただきました。その間支えていただいた皆さまのおかげと御礼申し上げます。開館直後は1日に2千人を超える来館者がありましたが、最近では平日900人前後、土日祝日には1500人前後の来館者となっています。地域に初めてできた児童センターについては、来館者が非常に多く現在も入館制限を行っています。

この1年間、近隣の千里金蘭大学・大阪大学・関西大学をはじめ、様々な大学と連携事業を繰り上げることができました。開館1周年記念イベントについても、千里金蘭大学から講演会、子供を対象とした「遊びの広場」を予定しています。また5月の大型連休にも実施して非常に好評だった、2階のテラスの窓ガラスに専用クレパスでお絵描きをするというアートイベントを実施予定です。イベントの様子をSNSやインスタグラムを利用して30分ほど初めてインスタライブを実施しようと思っています。また子供を対象とした化石の発掘体験など、皆さんがわくわくどきどきするような様々なイベントを実施予定です。昨今子供の貧困問題がとりあげられることが多いですが、まちなかりビング北千里では、施設の特性を活かし、学校や園以外の体験の機会が少なくなっている子供や御家庭にも身近な施設でいろんな体験をしていただきたいと考えています。今後、12月には子供対象の手話のイベント、1月には子育て中の方を対象にしたアンガーマネージメント、子供の叱り方などさまざまな講演会・事業を展開していく予定です。

岩本委員:すごくいろんな取組をされていていいなと思います。11月24日に、託児サービスをされますが、料金はおいくらぐらいでしょうか。

栗田館長:おひとり500円ちょうどです。公民館の部屋での託児でおやつは出ません。児童センターの事業で、スタッフのほとんどが保育士です。児童センターのスタッフによる託児です。

(4) その他

長尾館長:前回7月の図書館協議会以降の吹田市立図書館の取組について御報告いたします。10月3・4・5日の3日間、市役所正面玄関ロビーで「図書館カード出張登録会」を開催し、3日間で31名の方に登録していただきました。基本目標2サービス方針4のところ「吹田市に引越してきたときに図書館の周知・宣伝があれば」という御意見をいただき

ましたが、まさに市民課の前で登録会をいたしましたので、ちょうど引越してきた方々にPRL登録をしていただくことができました。またすでに図書館カードを登録されている方々にも、会場に設置した図書館全体の地図パネルを見ていただいて、『市内に図書館が何館あるか知らなかった』という御意見をいただいたりして、3日間だけでしたがよいPRになったと思います。今後も定期的に進めていきたいと考えております。

添田主幹:「子どもと本のまつり秋の講演会」と「図書館講座じゅずつなぎ」について御報告します。どちらも秋の読書週間の期間にあわせ、毎年10月から11月にかけて開催しております。

まず、「子どもと本のまつり秋の講演会」でございますが、今年度は第40回を迎え、10月21日に『おすしやさんにいらっしやい』の著者、すし職人・すし作家の岡田大介氏をお迎えし「おすしやさんがきてくれはる」というタイトルで講演を行いました。小学生対象の第1部、小学4年生以上大人の方までが対象の第2部の2部構成で御講演いただきました。特に第1部の小学生向けがたいへん人気で、子供たちの目の前で実際に魚をさばいてもらい、「食べることの大切さ」「生き物を食べるとはどういうことか」をお話ししていただいたへん好評でございました。

次に「図書館講座じゅずつなぎ」でございますが、この講座は吹田に関わりのあるテーマやゆかりのある方を講師にお迎えし、吹田市内各図書館で講座を開催しております。今年は10月21日の千里丘図書館を皮切りに、11月26日まで行う予定としております。すでに定員いっぱいになった講座もございますが、御興味がおありでしたら、是非足をお運びください。こちらの講座も今年度で第20回という節目を迎えまして、皆々さまの御協力のたまものと感謝申し上げます。

大平参事:「千里山入居100周年記念・今昔展」について、御報告いたします。大正12年に最初の十数戸が入居してから今年で100年を迎えることを記念して、千里山の古い写真や関連する資料を展示いたしました。

展示は10月27日から始まっており、本日11月9日が最終日となっております。朝日新聞の地域面にも10月31日朝刊で取り上げてもらいました。

11月3日には関連イベントとして一日使って、様々な企画も実施いたしました。午前の「千里山の歴史について」の講座には56人の方に御参加いただきました。企画は千里山まちづくり協議会との共催で行い、準備や当日の役割なども分担して協働で行ったイベントとなります。

長尾館長:「KENTO FES 2023」について御報告いたします。この企画は2020年から開催されています。2022年には、11月に健都で行われるイベントはすべてKENTO FESとされ、

5300人以上の参加があったのですが、2023年は改めて吹田市民・摂津市民を対象とした1日集約型のイベントを行います。健都いきいきフェスティバルは健都ライブラリーの3周年記念イベントとなります。2020年の11月11日にオープンしましたので毎年その時期に行っています。ちょうど今年は11月11日が土曜日にあたりますので、この日に行います。昨年度は健都いきいきフェスティバルもKENTO FESに含まれていたのですが、今年度は含まれません。健都いきいきフェスティバルも今まで2日間だったのを今回は1日にし、健都ライブラリー及び健都レールサイド公園としてもKENTO FES 2023の方に1日また参加するというかたちになります。よろしければ皆さまもぜひ御参加ください。

林野館長：「令和5年度NATS図書館職員交流会」について御報告いたします。「点検・評価報告書」サービス方針3の広域連携に関し、NATS（西宮・尼崎・豊中・吹田）の取組について、令和4年度は図書館連絡会は開催しませんでした、とあります。令和3年度には、オンラインで開催しましたが、令和4年度には調整ができませんでした。令和5年度は11月7日に開催することができました。4市から20名ほどが、北千里図書館を会場に集まり、2時間ほど意見交換を行ったのち、まちなかりビング北千里を見学していただきました。内容については新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからの状況、電子書籍の導入状況、各市の今後の新規事業計画などでした。他には司書の採用状況などについて活発に意見交換を行いました。

日置副会長：「図書館カード出張登録会」ですが、その場で図書館情報システムに登録していたのですか。

長尾館長：ポータブルの端末でその場ですぐ登録しました。自動車文庫で使用していた端末です。

日置副会長：電子図書館のデモもしたのですか。

長尾館長：その準備もしていたのですが、ロビーに座ってスマホを使っている方などにお声がけしたのですが、実際に使ってみてくださる方はおられず、残念なことでした。

添田主幹：Wi-Fiが市役所のロビーではうまく繋がらず、残念ながらデモは難しい環境でした。

次第3その他（1）退任委員について

牧瀬館長：学校校長会から御参加いただいておりました川中委員、また令和3年から第10期協議会に公募で御参加いただいておりました木田委員、山本委員の退任を御報告いたします。委員の皆様には、会議に際しては率直な御意見をいただき議論を深めることができたと思っております。ありがとうございました。この報告の後、おそれいりますが一言ずつ御挨拶

拶をいただければと思っております。

(委員挨拶)

瀬戸口会長: それでは次第3(2)次回協議会の日程について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

4 その他 (2) その他

瀬戸口会長: 皆さまの方から他に何かございますでしょうか。

岩本委員: 以前、別の委員も言っておられましたが、部・次長にも協議会に出席いただき、部として責任をもって市民の意見を聞いていただくということが大事ではないかと思っておりますので、その点、よろしくお願いします。

林野館長: 今年度については、公務の都合により上席の欠席が続き申し訳ありません。御意見をお伝えし、できるだけ調整できればと思っておりますので、よろしくお願いします。

瀬戸口会長: 他の御意見はありませんでしょうか。なければ、本日予定している案件は以上ですので、これで会議を終わらせていただきます。長時間ありがとうございました。